

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	令和元年度第2回愛荘町立図書館協議会 会議結果(概要)
開催日時	令和元年(2019年)11月20日(水) 午後7時30分～午後9時
開催場所	愛知川図書館
出席者	西澤基治会長、安孫子雅城副会長、大辻登代子委員、辰巳和美委員、辻野ミ子委員、西村知子委員、野村仁美委員、村田賢司委員
事務局	茶谷図書館長、小川参事、三浦課長補佐
傍聴者	0人
議 題	(1)図書館利用状況、行事实施状況について (2)まちじゅうどくしょの推進について (3)その他
審議内容	<p>(図書館長挨拶)</p> <p>(事務局)</p> <p>愛荘町立図書館協議会は、愛荘町立図書館条例および愛荘町立図書館協議会規則により運営されております。規定上、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とあり、委員10名のうち本日のご出席は8名で、会議が成立しております。</p> <p>それでは、会長に議事進行をお願いします。</p> <p>(会長)</p> <p>議案1、今年度行事の報告と図書館利用状況について、事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>令和元年度の秦荘図書館、愛知川図書館利用状況、行事实施状況を報告。</p> <p>(事務局)</p> <p>令和元年度の愛知川びんてまりの館企画展実施状況を報告。</p> <p>(会長)</p> <p>ご意見はございますか。</p> <p>特に意見のないようですので、議案2、まちじゅう読書の推進について、事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>愛荘町のまちじゅう読書の推進についてお伺いします。愛荘町では、5年前より町立図書館の司書職員が小学校の学校図書館には週2日、中学校には週1日配置され、読書支援と授業支援を実施しています。本来、学校または教育委員会で配置すべきとの声もあるのですが、学校単独で雇用した場合に比べ、町立図書館から配置の形とした場合、町立図書館と学校との連携がうまくいくことや、学校図書館で不足する資料を町立図書館から速やかに補えるなどのメリットがあり、愛荘町では町立図書館からの司書配置の形式を採用しています。</p>

一方で、愛荘町の小中学生の読書率、読書冊数が低いことや、小学校で週 2 日の配置であり、学校図書館の充実の面では至らない点多々あります。本日はこの学校図書館の司書についてご意見をいただきたいと思ます。

(委員)

読み聞かせボランティアで小学校を訪問していますが、聞く姿勢が4月に比べずいぶんとよくなったと思います。これを見ていると、幼い頃から絵本に触れあうことが大切なのだと思います。統計では貸出冊数しか見えてこず、他の活動や読書率が見えてこない。統計には見えづらい読書の輪が広がればいいなと思います。また、ボランティアも増えればいいなと思う。

(会長)

ボランティアが頑張ってつなげるのも大切だし、一方で本や資料について知識の深い司書の職員が学校図書館にいることも大切と思う。

(委員)

ボランティアは何人くらいで活動されていますか。

(委員)

今は8人か9人くらいです。

(委員)

保護者には活動をPRされていますか。

(委員)

保護者には特にPRはされていないと思います。

(委員)

ぜひ保護者にも読み聞かせの活動を伝えて、家でも読み聞かせができるよう広まれば良いなと思います。

(委員)

町立図書館と学校との連携について、学校図書館の本来の役割は読書推進だけではなく、情報センター、学習の拠点であると思う。町立図書館から配置されている司書は授業ができるのか、また、学校現場の先生方は学校図書館の役割を理解されているのかお伺いしたい。

(事務局)

学校図書館法に規定されている職員のうち、司書教諭は教諭であり、授業をされています。愛荘町では学級数規定に満たない1校を除く5校に司書教諭が発令されていますが、専任ではなく学級担任等との兼務であり、学校図書館業務を行う時間は限られています。一方、学校司書は事務職員として学校図書館事務を担当し、先生方と連携して学校図書館の図書の整理や読書推進、授業支援活動を行います。この学校司書は教諭ではないため、学校が雇用しても町立図書館から配置しても、単独で授業は行うことはできませんが、先生と一緒に授業に入って授業に関連する本を紹介したり、夏休み前に中学校でお薦めの本の紹介を行うなど、多くの活動をしています。

町立図書館から学校図書館へ司書を配置した当初は、学校の先生方に

学校司書の役割が浸透していなかったこともありますが、現在は小学校の多くの授業で学校図書館を活用されています。

ただし、学校図書館の活用方法が学校によって異なることや、先生によっても違いがあります。おはなし会だけでなく、子どもたちが自分で読む力をどのようにつけるのが今後の課題です。

(委員)

5年前に司書が学校図書館に入るようになってから、学校図書館が活発化したと思う。学校図書館の雰囲気や空気がよくなって、こどもが学校図書館で本を読んでいる姿が見られるようになったと思います。

(委員)

学校図書館に司書が入った成果は確実に出ていていると思います。司書教諭と司書との協議の場は設けていますか。

(事務局)

全員が集まって新年度の打ち合わせをする場を、4月に設けています。それ以降は先生方がご多忙なため、それぞれの学校で個別に連絡を取ったり、連絡ノートを設けるなどの工夫をして連絡しています。なお、司書は何かあれば必ず先生と連絡を取るようになっています。

(委員)

保護者ももっと本や読書に興味があれば、こどもも自然に本に興味をわくと思う。PTAや保護者を何かの形で巻き込めないかと思います。親も忙しいのですが。

(委員)

スポーツは放課後にスポ少があり、スポーツに取り組んでいる。それならば、読書の好きな子どもが通うことのできる図書少のようなものを作ってはどうか。図書館を夜間に開館して、支援員さんが子どもの読書を支えるような。図書館の夜間開館の形で実施できないだろうか。読書を家庭や学校だけに任せるのではなく、私たちボランティアや地域で支える体制をつくらないと、読書離れが進む一方だと思う。

(事務局)

アイデアとしてはとても良いと思います。図書館としては、夜間開館をどうするのか、といった問題があります。

(会長)

図書少も、目標を定めて実施してみても、と思います。

学校図書館への司書配置日数の増加については、図書館協議会としてもこれを求めたいです。

(委員)

先ほど話に出た、読んでもらうから自分で読むには、という点は、特に乳幼児期の読み聞かせはとても重要なので、読んでもらうこともとても大切です。その後の安心感や、本を好きになるかがそれで決まると言われています。

(委員)

	<p>何歳でも、読み聞かせをしてあげてほしいです。</p> <p>(会長)</p> <p>他にご意見がなければ、副会長よりお願いします。</p> <p>(副会長)</p> <p>先日、ほんてつ主催、図書館協議会共催で実施したビブリオバトルの報告をさせていただきます。今回、公式ルールで実施したこと、まちづくり支援事業から補助金をいただき、ビブリオバトルの解説を入れたうちわを作成し配布したこと、またアンケートを実施し集計しました。公式ルールでの実施ですが、50名の参加者がありました。今後もぜひ続けてゆきたいと考えています。</p> <p>(会長)</p> <p>ありがとうございます。他にご意見がなければ、事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>次回は3月4日(水)に秦荘図書館での開催でいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし。)</p> <p>では、次回もよろしくお願いします。</p> <p>(会長)</p> <p>本日はこれで終了します。</p>
問い合わせ先	愛知川図書館 連絡先 0749-42-4114